

## 指導の手引き 18. 季節

<b>spring</b>		春
英語らしい音を出すコツ	sprをひとかたまりの子音として発音し、間に母音を入れないようにする。リズムカルに、ring, pring, spring と繰り返し言って練習する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、aを付けたり複数形にしたりせずに使うことが普通。曜日や月の名前のように固有名詞だと考える母語話者もいる。	
文化的な情報、応用表現など	動詞の spring が「跳ねる、飛び出す、湧き出る」の意味であるように、あらゆる命が新しく生まれ出る季節という意味だと考えられている。	

<b>summer</b>	最初の sum- にアクセント。	夏
英語らしい音を出すコツ	Sum- のuは、bus や cup の u と同じ、口の中央で発音する明るい「ア」である。	
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、aを付けたり複数形にしたりせずに使うことが普通。曜日や月の名前のように固有名詞だと考える母語話者もいる。	
文化的な情報、応用表現など	ヨーロッパの多くの古代語で「夏」を意味する同様の語がある。遡れば古代インドのサンスクリット語の「季節」を表す sama に行き着くとされている。	

<b>autumn / fall</b>	最初の au- にアクセント。	秋
英語らしい音を出すコツ	最初の au-は「ア」を発音するように口を開けたまま「オ」の音を出す。2つ目のuはあまり口を開かずに発音するか、しなくてもよい。語尾のnは発音しない。Fall は、下唇に歯を当ててfを発音し、語尾のlは舌先を弾くのではなく gの直後に舌を上歯の裏に付けて、暗い感じの「ウ」に近い音を出す。	
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、aを付けたり複数形にしたりせずに使うことが普通。曜日や月の名前のように固有名詞だと考える母語話者もいる。	
文化的な情報、応用表現など	古代ラテン語に同様の語があるが、その起源は不明。アメリカ英語では fall を使うことが多い。Fallは「落ちる」の意味から「葉の落ちる季節」になった。	

<b>winter</b>	最初の win- にアクセント。	冬
英語らしい音を出すコツ	最初の w は唇をしっかり丸める。	
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、aを付けたり複数形にしたりせずに使うことが普通。曜日や月の名前のように固有名詞だと考える母語話者もいる。	
文化的な情報、応用表現など	ヨーロッパの多くの古代語で「冬」を意味する同様の語がある。もともとは「濡れた季節」を意味したと言われる。	